

主語と述語以外はラーメンのトッピング

二十五日からの準備登校に引き続き、六月一日からの学校再開が決まりました。そろそろ学校モードを意識して生活してくださいね。

主語と述語という文節について、前回話しました。日本語の文はこの二つが中心となりますからね。注意しなければならなかったのは主語ですね。忍者とよく似てたからね。しっかり見破ってくださいよ。

今日は 国語の 文法を 勉強しました。

前回使ったこの文の述語は「勉強しました」、主語はなかったよね。じゃあ、残りの文節「今日は」「国語の」「文法を」の三つの文節は一体何だろう。

そこでイメージしてほしいのがラーメンです。ラーメンの基本はスープと麺だよ。最近では汁なしラーメンも人気だからちょうどいい。えっ、何がって？スープは消えることがあるから、主語だね。麺が消えたらラーメンではないから、これが述語だね。

でも、スープと麺だけでは味気ないね。そこで必要なのがトッピング。煮卵、メンマ、チャーシュー、野菜、のり……ご当地ラーメンになると、その地方の名物まで載ったりしているね。



実は、これらのトッピングにあたるのが先の三つの文節だよ。ただし、文法ではトッピングとは言わないからね。「修飾語(しゅうじょご)」と言います。しっかりマスターしてね。

ただ、注意しなければならぬことがあります。写真のラーメンで言うと、メンマ、煮卵、もやしは麺や汁の上に載っていますが、ネギはもやしの上、ニンニクはチャーシューの上に載っています。ここに注意してね。

先の文を見てみよう。いつ勉強したの？何を勉強したの？こう尋ねると、それぞれ「今日は」「文法を」が答えになるよね。つまりこの二つの文節は、「勉強しました」の上に載っているということ。では「国語の」は？

「国語の勉強しました」ではおかしいよね。「何の文法？」「国語の文法」となるから、「国語の」という文節は「文法を」の上に載っているんだね。ここのとこころを確実にみつけれられるようにしておいてね。後は授業でね。